

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年6月26日 臨時庁議	
開 催 日 時	平成26年6月26日（木） 午前9時02分から 午前9時18分まで	
開 催 場 所	朝霞市役所 別館3階 市長公室	
出 席 者	富岡市長、田中副市長、田中市長公室長、小林総務部長兼危機管理監、佐藤市民環境部長、三田福祉部長、蕨塚健康づくり部長、柳原都市建設部長、細沼会計管理者、田中水道部長、内田議会事務局長、渡辺学校教育部長兼教育総務課長、島村生涯学習部長、内田監査委員事務局長  (担当課) 木村副審議監兼危機管理室長、斎藤同室長補佐、同室危機管理係吉田主査 (事務局) 神田市長公室次長兼政策企画課長、佐藤同課主幹兼課長補佐、同課政策企画係山崎主事	
会 議 内 容	平成26年6月25日（水）の記録的短時間大雨にかかる状況報告	
会 議 資 料	朝霞市記者発表資料	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	■要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁		
そ の 他 の 必 要 事 項		

## 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

### 【議題】

平成26年6月25日（水）の記録的短時間大雨にかかる状況報告

### 【説明】

（小林総務部長兼危機管理監）

平成26年6月26日の水曜日、11時49分に大雨・雷・洪水注意報が発令され、降り始めから50ミリを越える記録的大雨となりましたので、14時45分に警戒体制第2配備を布き、延べ80名の職員が警戒にあたった。14時47分に大雨・洪水警報が発令され、15時17分に埼玉県記録的短時間大雨情報第1号の発表があり、朝霞市付近で1時間に約110ミリの雨が降ったとのことであった。その後雨は収まったが、初めてこのような情報が発表された。その後、19時56分に大雨・雷・洪水注意報へ移行した。

雨量については、時間雨量で14時から15時で103ミリが観測され、累積では119ミリであった。

被害内容については、浸水被害は、昨日22時の調査時点で、床上浸水が43棟、床下浸水が74棟、事業所が25事業所である。本日についても朝から、昨日対応出来なかったお宅を訪問し、調査等を行っている。

人的被害については、現在把握しているものはない。また、南朝霞公民館において避難所の開設準備を行ったが、避難者はなかった。

今後の予定については、被害家屋の調査を行うと共に、市民環境部において消毒の実施、また、要援護者等の支援として床上浸水宅のあと片付などの対応を、福祉部や健康づくり部職員にお願いしている。

（田中市長公室長）

市民及びマスコミに対しての情報発信状況ですが、14時43分に本町随道の閉鎖という情報を、市ホームページ、メール配信サービス、twitter、facebook、テレビ埼玉のデータ

放送、以上5つのメディアへの情報発信を皮切りに、大雨洪水警報の発表、市内の道路の閉鎖状況、市内循環バスの一部迂回情報等、20時05分の大雨・洪水警報の解除まで全9回にわたって情報発信を行った。

(佐藤市民環境部長)

豪雨による市民環境部所管の2ヶ所の施設で被害があった。

1ヶ所目は膝折市民センターで床上浸水があり、1階のホール、第1・第2会議室、ラウンジ、シルバーサロン等が浸水した。昨日の夜の利用は中止とし、本日も朝から消毒作業が行われているため利用を中止している。

2ヶ所目は旧第四小学校では、プレハブ校舎2棟で床上浸水があったが、市民センター、旧第四小学校共に消毒作業は終わっている。

今後の予定について、現在消毒作業は2班に分かれて、膝折市民センター、旧第四小学校作業終了後に各地域に出向いて消毒作業を行っており、本日中には消毒作業を終えたいと考えている。畳等の収集運搬については、屋外に出していただき、市で収集・回収を行っていく。

(細沼会計管理者)

被害なし

(内田監査委員事務局長)

被害なし

(内田議会事務局長)

被害なし

(三田福祉部長)

所管施設で一部雨漏り等が報告されているが、児童並びに利用者に被害は出ていない。旧第四小

学校プレハブ校舎にある放射能測定器が少し水を被ったようで、これから点検をするところである。

今後の予定については、高齢者などの生活支援としてゴミ片付けの手伝いを健康づくり部と協力して実施する。

(薮塚健康づくり部長)

健康づくり部所管の朝光苑及び保健センターにおいて雨漏りがあったが、利用者に大きな影響はなかった。わくわくどーむは休館中であったため被害はなかった。市内各所の介護事業所においても確認をしたが、特に影響はなかった。高齢者住宅についても職員がすべて訪問をしたが、異常はなかった。

ソフト事業としては、産業文化センターで保健所と共催により講演会を実施し、38名の方が参加されていたが、雨が降り始める前に入り、小康状態になってから帰ったので影響はなかった。

また、本町の一人暮らし高齢者世帯が床上浸水したが、居住者は近所の家に避難していたことを職員が確認したため、被害はなかった。

(柳原都市建設部長)

道路冠水についてですが、確認できた道路冠水箇所数は全部で30ヶ所であった。この内5ヶ所で通行止めを行った。本町隧道は最大水位が5メートルまで冠水し、自動車1台が水没したが、運転者は避難したため負傷はない。本人が市役所で待機を希望していたので、福祉課で対応した。また、隧道に設置されている排水ポンプが作動しなかったため、可搬式ポンプを市及び災害支援業者からそれぞれ1台、消防署及び消防団のポンプ車の手伝いをいただき、現在も活動中である。水没した自動車については本日5時30分頃にJAFによりレッカーされ、運転手についてもタクシーにて帰宅した。

課題としては、本年6月12日の排水ポンプの点検では正常に作動していたので、早急に今回の原因を究明し、再発防止に努める。

その他4ヶ所の通行止めについては、豪雨が過ぎ去ってしばらくは水が引かなかったが、概ね19時までには通行止めを解除した。

土嚢の配布については、5件の要望があり、各要望先に20から30個程度の配布を昨日中に完了している。

次に、その他の住家等被害についてだが、1ヶ所目は幸町1丁目の戸建て住宅のブロック積み擁壁、約3メートルが崩落した。開発建築課の確認によると建物崩壊の可能性があるため居住継続は困難と判断した。そのため、職員による立ち入り禁止措置、避難誘導を実施した。居住者の理解をいただき、親族宅に避難をしている。また、周辺の市道についても一部通行止めをしている。二次災害防止のため、擁壁へのブルーシート設置を市で行った。復旧工事は所有者が実施する予定であるため、復旧作業の進捗状況を踏まえて立ち入り禁止措置を解除する予定である。

2ヶ所目は根岸台7丁目の共同住宅で、高さ2メートルの擁壁の崩落により、前面の私道が閉塞されていた。職員の確認による建物崩壊の危険性は現在ないとのことから、私道立ち入り禁止措置のみを実施している。応急処置としてブルーシートによる保護している。今後、復旧措置は所有者により行われる予定である。

また、その他の被害としては、北割公園の半分程度が冠水したため、マンホールの蓋を開け、排水作業を実施している。また、15時から16時の間、新河岸川の水位が3.5メートルを超えたことから朝霞水門に職員が待機したが、操作等は実施していない。

わくわく号については、末無川周辺で迂回や遅延があったものの、運行自体に影響はなかった。

(渡辺学校教育部長)

学校設備に関しては、落雷の影響で第二小学校と第四小学校のエアコンが停止した。第二小学校については普通教室のエアコン37台が停止していたが、本日9時現在で32台が復旧している。残りの5台についても現在作業中である。第四小学校については、音楽室のエアコンが停止しているが業者の手配は済んでいる。建物の被害は以上である。

小・中学校の下校の状況については、小学校は15時から16時の間に集団下校を実施した。中学校については、第四中学校のみ通常下校を実施し、その他の中学校については清掃及び部活動を中止して下校した。また、昨日テレビ報道のありました第一中学校グラウンドについては、貯水機能があるため一時的に水が溜まったが、6時と8時に確認をしたところ、概ね水は引いている。

(島村生涯学習部長)

博物館、総合体育館、陸上競技場、武道館において数箇所の雨漏りが発生しました。雨漏りについては適宜対応していく。また、旧高橋家では漏電と思われる機械ケーブルに不良があったが仮復旧済みで、現在修理を依頼している。なお、陸上競技場は17時以降の利用を中止とした。

(田中水道部長)

水道施設では被害等はなかった。水道庁舎から山下通りへ向かう途中のマンホールから水が噴き出したため、水道部職員が現場へ行き、業者手配を行った。現在復旧作業は終えている。

(富岡市長)

朝霞市始まって以来の集中豪雨であったと感じている。大きな災害であったため、万全に対応すること。現在、床上浸水や床下浸水が発生しているところは日頃から内水が出る地域であるが、更に拡大した被害となっている。その地域は昔からある住宅地区であり、高齢化が進んでいる場所でもあるので、高齢者世帯や要援護者等を中心に万全の対応をしていただきたい。

この集中豪雨は始まりであり、これから数ヶ月はこのような対応を必要とする場面が出てくると思うので、今回の教訓を基に、次回も被害を最小限に抑えるように努めていただきたい。

**【閉会】**